

HSBC ブラジル債券 オープン(毎月決算型)

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	2008年9月30日～2023年9月25日	
運 用 方 針	ブラジル債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主にブラジル連邦共和国（「ブラジル」）の債券等に投資することにより、安定したインカムゲインの確保とともに、信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要運用対象	HSBC ブラジル債券オープン(毎月決算型)	ブラジル債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	ブラジル債券マザーファンド	主にブラジルの政府、政府機関もしくは企業等が発行する現地通貨建債券に投資します。
組 入 制 限	HSBC ブラジル債券オープン(毎月決算型)	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ブラジル債券マザーファンド	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への投資は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への投資には制限を設けません。
分 配 方 針	年12回の決算時（毎月25日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。 ①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

運用報告書（全体版）

第103期	（決算日	2017年4月25日）
第104期	（決算日	2017年5月25日）
第105期	（決算日	2017年6月26日）
第106期	（決算日	2017年7月25日）
第107期	（決算日	2017年8月25日）
第108期	（決算日	2017年9月25日）

◎受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC ブラジル債券オープン(毎月決算型)」は、2017年9月25日に第108期の決算を行いましたので、第103期～第108期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

HSBC 投信株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング
 ≪お問い合わせ先（クライアントサービス本部）≫
 電話番号：03-3548-5690
 （営業日の午前9時～午後5時）
 ホームページ：www.assetmanagement.hsbc.com/jp

◎最近5作成期の運用実績

作成期	決 算 期	基 準 価 額 (分 配 落)	税 込 金 期 騰 落 中 率		債券組入率 比	債券先物率 比	純 資 産 額 総
			分 配	騰 落			
第14作成期		円	円	%	%	%	百万円
	第 79期 (2015年 4月27日)	5,697	60	6.6	96.5	—	45,156
	第 80期 (2015年 5月25日)	5,603	60	△ 0.6	96.3	—	44,852
	第 81期 (2015年 6月25日)	5,621	60	1.4	95.8	—	45,580
	第 82期 (2015年 7月27日)	5,147	60	△ 7.4	98.0	—	42,062
	第 83期 (2015年 8月25日)	4,575	60	△ 9.9	96.8	—	37,596
第15作成期	第 84期 (2015年 9月25日)	3,975	50	△12.0	96.6	—	32,401
	第 85期 (2015年10月26日)	4,080	50	3.9	96.5	—	33,152
	第 86期 (2015年11月25日)	4,364	50	8.2	95.9	—	35,500
	第 87期 (2015年12月25日)	3,927	50	△ 8.9	95.8	—	31,797
	第 88期 (2016年 1月25日)	3,742	50	△ 3.4	95.2	—	29,918
	第 89期 (2016年 2月25日)	3,756	50	1.7	97.0	—	29,907
第16作成期	第 90期 (2016年 3月25日)	4,206	50	13.3	96.6	—	32,955
	第 91期 (2016年 4月25日)	4,402	35	5.5	97.3	—	34,388
	第 92期 (2016年 5月25日)	4,359	35	△ 0.2	97.3	—	33,855
	第 93期 (2016年 6月27日)	4,320	35	△ 0.1	96.9	—	33,131
	第 94期 (2016年 7月25日)	4,698	35	9.6	99.0	—	35,832
	第 95期 (2016年 8月25日)	4,490	35	△ 3.7	98.3	—	33,880
第17作成期	第 96期 (2016年 9月26日)	4,517	35	1.4	97.8	—	34,411
	第 97期 (2016年10月25日)	4,932	35	10.0	96.1	—	35,745
	第 98期 (2016年11月25日)	4,847	35	△ 1.0	96.2	—	36,027
	第 99期 (2016年12月26日)	5,251	35	9.1	96.7	—	38,988
	第100期 (2017年 1月25日)	5,372	35	3.0	99.4	—	39,810
	第101期 (2017年 2月27日)	5,487	35	2.8	98.5	—	41,039
第18作成期	第102期 (2017年 3月27日)	5,441	35	△ 0.2	98.7	—	40,528
	第103期 (2017年 4月25日)	5,378	35	△ 0.5	98.0	—	39,869
	第104期 (2017年 5月25日)	5,110	35	△ 4.3	96.6	—	38,170
	第105期 (2017年 6月26日)	5,052	35	△ 0.5	94.8	—	38,643
	第106期 (2017年 7月25日)	5,458	35	8.7	99.0	—	42,289
	第107期 (2017年 8月25日)	5,404	35	△ 0.3	98.1	—	41,987
	第108期 (2017年 9月25日)	5,658	35	5.3	97.3	—	43,797

(注1) 基準価額の期中騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組み合わせますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注4) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

◎当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債券組入率 比	債券先物率 比
			騰 落 率		
第103期	(期 首) 2017年3月27日	円 5,441	% —	% 98.7	% —
	3月末	5,456	0.3	98.5	—
	(期 末) 2017年4月25日	5,413	△0.5	98.0	—
第104期	(期 首) 2017年4月25日	5,378	—	98.0	—
	4月末	5,322	△1.0	98.0	—
	(期 末) 2017年5月25日	5,145	△4.3	96.6	—
第105期	(期 首) 2017年5月25日	5,110	—	96.6	—
	5月末	5,140	0.6	96.3	—
	(期 末) 2017年6月26日	5,087	△0.5	94.8	—
第106期	(期 首) 2017年6月26日	5,052	—	94.8	—
	6月末	5,149	1.9	93.9	—
	(期 末) 2017年7月25日	5,493	8.7	99.0	—
第107期	(期 首) 2017年7月25日	5,458	—	99.0	—
	7月末	5,464	0.1	98.7	—
	(期 末) 2017年8月25日	5,439	△0.3	98.1	—
第108期	(期 首) 2017年8月25日	5,404	—	98.1	—
	8月末	5,426	0.4	97.8	—
	(期 末) 2017年9月25日	5,693	5.3	97.3	—

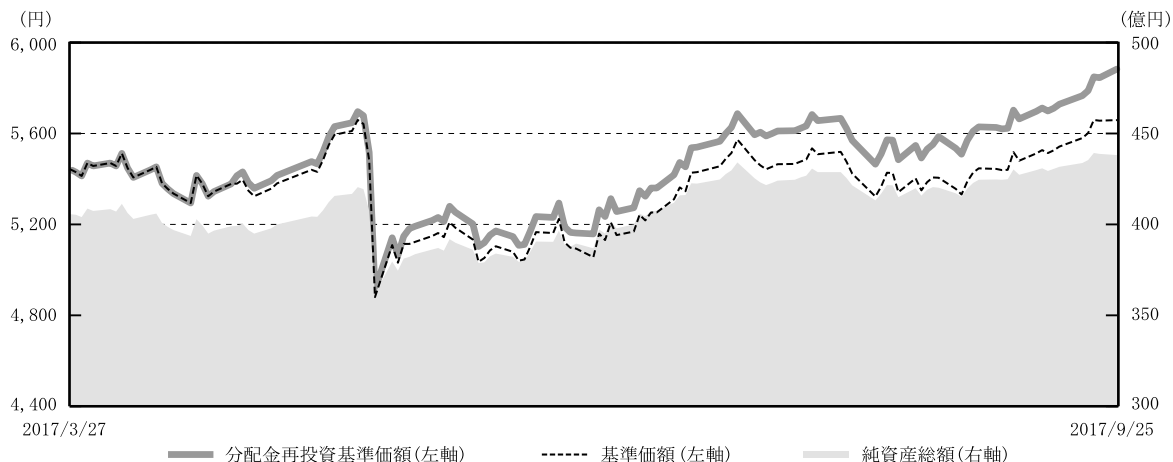
(注1) 期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

◎当作成期の運用状況と今後の運用方針

1. 基準価額等の推移について（第103期～第108期：2017年3月28日～2017年9月25日）



【基準価額・騰落率】

第103期首：5,441円

第108期末：5,658円（既払分配金（税込み）：210円）

騰落率：+8.1%（分配金再投資ベース）

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するか否かについてはそれぞれの受益者が利用されるコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、それぞれの受益者の損益状況を示すものではありません。

・分配金再投資基準価額は、作成期首（2017年3月27日）の値を基準価額と同一になるように指数化しております。

2. 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

組入銘柄の価格上昇（利回り低下）と利子収入がプラスに寄与しました。

3. 投資環境について

【債券市況】

ブラジル債券市場は、当作成期を通じて上昇（利回りは低下）基調となりました。インフレ率の低下とブラジル中央銀行による利下げが主な上昇要因となりました。

拡大消費者物価指数（IPCA）は、2017年2月の前年同月比+4.8%から8月は+2.5%まで低下しました。インフレ率が低下する中で、中央銀行は4月、5月、7月、9月に4会合連続で1%の大幅利下げを実施し、債券市場にとり追い風となりました。

【為替相場】

当作成期初から6月半ばにかけて、安全資産とされる円が買われたことから、ブラジルレアルは対円で下落しました。6月下旬以降は、ブラジルの政治混乱の収束とそれに伴う改革前進への期待感などから、上昇相場となりました。当作成期を通じて見ると、レアルは対円で前作成期末比ほぼ横ばいでした。

4. ポートフォリオについて

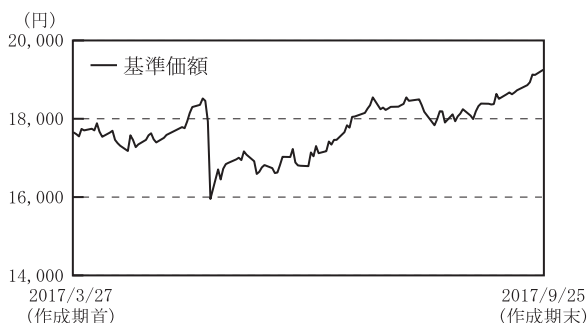
<HSBC ブラジル債券オープン（毎月決算型）>

「ブラジル債券マザーファンド」への投資を通じて、主にブラジルの債券等に投資しました。

<ブラジル債券マザーファンド>

残存期間1～5年を中心としたブラジル国債に投資しました。債券種類別には、割引国債の組入比率を40～43%程度、固定利付債は55～57%程度、物価連動国債を2%程度としました。また、キャッシュ比率は0.2～3.5%程度に維持しました。

基準価額（マザーファンド）の推移



5. ベンチマークとの差異について

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

6. 分配金について

第103期から第108期における分配金は、基準価額の水準・市況動向等を勘案し、いずれも35円（1万口当たり・税引前）とさせていただきます。

なお、留保益の運用につきましては特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

7. 今後の運用方針

ブラジル経済は回復の兆候を示しており、2017年以降はプラス成長を続けると当社では見えています。また、インフレ率は通貨レアルの堅調な推移や緊縮財政などから、引き続き落ち着いた推移が見込まれます。インフレ率は当面は目標中央値の4.5%を下回る見通しであり、中央銀行は一段の利下げを実施することが見込まれます。

テメル政権は構造改革に取り組んでおり、7月には労働法の改正が成立、今後はこれまでの硬直的な労働市場の改善が見込まれます。また、構造改革の目玉である社会保障改革にも取り組んでおり、年金制度を含む社会保障制度改革案が下院で審議されます。但し、政治情勢の悪化が改革の進捗に影響を与える可能性があり、今後の動きを注視します。

通貨レアルは引き続き底堅い動きを見込んでいます。貿易・経常収支の改善や潤沢な外貨準備高などが相場を下支えすると見えています。

<HSBC ブラジル債券オープン（毎月決算型）>

「ブラジル債券マザーファンド」への投資を通じて、主にブラジルの債券等に投資することにより、安定したインカムゲインの確保とともに、信託財産の中長期的な成長を目指します。

<ブラジル債券マザーファンド>

世界でも利回りが高水準にあるブラジル国債への投資を通じて安定的な投資収益の確保を目指します。債券ポートフォリオでは、引き続き中期債の組入比率を高め維持しています。

金融取引税について

当ファンドにはブラジル政府による金融取引税（IOF）の課税対象となる取引が含まれています。ここでいう金融取引税は日本を含む海外の投資家がブラジル国内のブラジルレアル建債券を購入するために、外貨（日本円、米ドル等）からブラジルレアルに交換する際の「為替取引」に対して課される税金のことです。

ただし、債券を購入するための為替取引に対しては当作成期末現在の課税は0%です。一方、債券の売買、ブラジルレアルから外貨（日本円、米ドル等）への為替取引は一部例外を除き課税されません。

当ファンドを保有される期間中、金融取引税が課税される場合は、受益者の皆さま個人に直接的に課税されるのではなく、投資信託の信託財産に課税されるため、間接的にご負担いただきます。信託財産が増加する場合（投資信託の購入金額の総額が換金金額の総額を上回った場合）、信託財産の増加分をもって、原則、新たにブラジルレアル建ての債券を購入いたします。その際の為替取引に課税されます。信託財産が減少する場合（投資信託の換金金額の総額が購入金額の総額を上回った場合）は新たに債券を購入しないので、一部例外を除き課税されません。そのため、通常受益者の皆さまの実質的な金融取引税の負担額は、金融取引税（IOF）の課税率とは異なります。

◎1万口当たりの費用明細

項目	作成期間(第103期～第108期)		項目の概要
	2017/3/28～2017/9/25		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 44	% 0.835	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(23)	(0.431)	ファンドの運用等の対価（運用委託先への報酬が含まれます。）
(販 売 会 社)	(20)	(0.377)	分配金・換金代金の支払い、運用報告書等の送付、口座内での ファンドの管理等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.082	(b) その他費用＝作成期中のその他費用／作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0.074)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(そ の 他)	(0)	(0.005)	振替制度にかかる費用、印刷業者に支払う法定書類にかかる費用等
合計	48	0.917	
作成期中の平均基準価額は、5,326円です。			

(注1) 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加設定・一部解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、「(b)その他費用」は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 「投信会社」は、以下、「委託者」、「委託会社」という場合があります。

◎親投資信託受益証券の設定、解約状況（2017年3月28日から2017年9月25日まで）

決 算 期	第 103 期 ～ 第 108 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ブラジル債券マザーファンド	4,488,600	7,910,537	4,703,743	8,367,379

（注）単位未満は切捨て。

◎利害関係人との取引状況（2017年3月28日から2017年9月25日まで）

親投資信託における当作成期中の利害関係人との取引状況

区 分	第 103 期 ～ 第 108 期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		B A			D C	
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	3,937	503	12.8	4,462	661	14.8

平均保有割合99.3%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子ファンドの親投資信託所有口数の割合。

（注）単位未満は切捨て。

*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド（東京）です。

◎組入資産の明細

親投資信託残高

2017年9月25日現在

種 類	第17作成期末	第 18 作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ブラジル債券マザーファンド	23,145,800	22,930,657	44,132,343

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

<補足情報>

当ファンドが組入対象とする「ブラジル債券マザーファンド」の決算日は当ファンドの決算日と異なります。
当ファンドの決算日現在におけるマザーファンド全体（23,075,414千口）の組入資産の内容を以下に記載します。

外国（外貨建）公社債（2017年9月25日現在）

(A) 債券種類別開示

区 分	第 18 作 成 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5年以上	2年以上	2年未満
ブ ラ ジ ル	千ブラジルレアル 1,229,435	千ブラジルレアル 1,191,101	千円 42,879,644	% 96.6	% 96.6	% 29.5	% 44.6	% 22.5
合 計	1,229,435	1,191,101	42,879,644	96.6	96.6	29.5	44.6	22.5

- (注1) 邦貨換算金額は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注2) 組入比率は、当ファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。
(注3) 単位未満は切捨て。
(注4) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。
(注5) B B格以下組入比率は、スタンダード・アンド・プアーズ（S & P）の格付に基づいております。なお、B B格とはB B＋、B B、B B－を指します。

(B) 個別銘柄開示

銘 柄 名	第 18 作 成 期 末					
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(ブラジル)		%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	
LTN 01/01/2019		—	191,615	175,462	6,316,637	2019/1/ 1
LTN 01/01/2020		—	132,200	110,937	3,993,747	2020/1/ 1
LTN 07/01/2019		—	116,000	101,983	3,671,414	2019/7/ 1
LTN 07/01/2020		—	135,500	108,456	3,904,449	2020/7/ 1
NTN-B 6% 08/15/2022	国 債 証 券	6.0	8,000	25,638	922,985	2022/8/15
NTN-F 10% 01/01/2021		10.0	293,720	305,162	10,985,845	2021/1/ 1
NTN-F 10% 01/01/2023		10.0	149,450	154,621	5,566,388	2023/1/ 1
NTN-F 10% 01/01/2025		10.0	158,950	163,818	5,897,472	2025/1/ 1
NTN-F 10% 01/01/2027		10.0	44,000	45,019	1,620,702	2027/1/ 1
合 計		—	—	—	42,879,644	—

- (注1) 邦貨換算金額は、作成期末現在の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。
(注3) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

◎投資信託財産の構成

2017年9月25日現在

項 目	第 18 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ブラジル債券マザーファンド	44,132,343	99.3
コール・ローン等、その他	306,729	0.7
投資信託財産総額	44,439,072	100.0

- (注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) ブラジル債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（44,194,952千円）の投資信託財産総額（44,717,443千円）に対する比率は98.8%です。
(注3) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=112.53円、1ブラジルレアル=36.00円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2017年4月25日) (2017年5月25日) (2017年6月26日) (2017年7月25日) (2017年8月25日) (2017年9月25日)

項 目	第 103 期 末	第 104 期 末	第 105 期 末	第 106 期 末	第 107 期 末	第 108 期 末
(A) 資 産	40,255,515,936円	38,631,454,909円	39,072,081,422円	42,989,266,439円	42,493,615,366円	44,439,072,686円
ブラジル債券マザーファンド(評価額)	40,183,678,816	38,488,213,801	38,970,749,040	42,619,213,200	42,323,495,368	44,132,343,971
未 収 入 金	71,837,120	143,241,108	101,332,382	370,053,239	170,119,998	306,728,715
(B) 負 債	385,591,484	460,992,296	428,150,898	699,410,326	506,265,122	641,632,200
未 払 収 益 分 配 金	259,492,256	261,435,327	267,733,220	271,171,856	271,942,589	270,918,403
未 払 解 約 金	71,837,120	143,241,108	101,332,382	370,053,239	170,119,998	306,728,715
未 払 信 託 報 酬	53,463,676	54,700,523	56,624,322	54,904,308	60,025,189	60,813,727
その他未払費用	798,432	1,615,338	2,460,974	3,280,923	4,177,346	3,171,355
(C) 純 資 産 総 額 (A－B)	39,869,924,452	38,170,462,613	38,643,930,524	42,289,856,113	41,987,350,244	43,797,440,486
元 本	74,140,644,760	74,695,807,743	76,495,205,826	77,477,673,161	77,697,882,835	77,405,258,157
次 期 繰 越 損 益 金	△34,270,720,308	△36,525,345,130	△37,851,275,302	△35,187,817,048	△35,710,532,591	△33,607,817,671
(D) 受 益 権 総 口 数	74,140,644,760口	74,695,807,743口	76,495,205,826口	77,477,673,161口	77,697,882,835口	77,405,258,157口
1万口当たり基準価額(C/D)	5.378円	5.110円	5.052円	5.458円	5.404円	5.658円

- <注記事項（当運用報告書作成時点では、監査未了です。）>
(注1) 当ファンドの第103期首元本額は74,491,791,732円、第103～108期中追加設定元本額は14,883,774,793円、第103～108期中一部解約元本額は11,970,308,368円です。
(注2) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

◎損益の状況

	自2017年3月28日 至2017年4月25日	自2017年4月26日 至2017年5月25日	自2017年5月26日 至2017年6月26日	自2017年6月27日 至2017年7月25日	自2017年7月26日 至2017年8月25日	自2017年8月26日 至2017年9月25日
項 目	第 103 期	第 104 期	第 105 期	第 106 期	第 107 期	第 108 期
(A) 有価証券売買損益	△ 152,369,991円	△ 1,677,196,825円	△ 124,276,888円	3,413,298,750円	△ 89,451,121円	2,283,193,768円
売 買 益	5,918,840	32,562,408	2,996,431	3,479,311,339	5,116,137	2,314,909,886
売 買 損	△ 158,288,831	△ 1,709,759,233	△ 127,273,319	△ 66,012,589	△ 94,567,258	△ 31,716,118
(B) 信託報酬等	△ 54,262,108	△ 55,517,429	△ 57,469,958	△ 55,724,257	△ 60,921,612	△ 59,807,736
(C) 当期損益金(A+B)	△ 206,632,099	△ 1,732,714,254	△ 181,746,846	3,557,574,493	△ 150,372,733	2,223,386,032
(D) 前期繰越損益金	△ 4,445,577,037	△ 4,754,538,596	△ 6,594,877,689	△ 6,864,119,478	△ 3,679,079,449	△ 3,994,984,009
(E) 追加信託差損益金	△29,359,018,916	△29,776,656,953	△30,806,917,547	△31,410,100,207	△31,609,137,820	△31,565,301,291
(配当等相当額)	(470,425,232)	(511,019,181)	(572,190,488)	(622,016,910)	(654,314,323)	(676,309,781)
(売買損益相当額)	(△29,829,444,148)	(△30,287,676,134)	(△31,379,108,035)	(△32,032,117,117)	(△32,263,452,143)	(△32,241,611,072)
(F) 計 (C+D+E)	△34,011,228,052	△36,263,909,803	△37,583,542,082	△34,916,645,192	△35,438,590,002	△33,336,899,268
(G) 収益分配金	△ 259,492,256	△ 261,435,327	△ 267,733,220	△ 271,171,856	△ 271,942,589	△ 270,918,403
次期繰越損益金(F+G)	△34,270,720,308	△36,525,345,130	△37,851,275,302	△35,187,817,048	△35,710,532,591	△33,607,817,671
追加信託差損益金	△29,359,018,916	△29,776,656,953	△30,806,917,547	△31,410,100,207	△31,609,137,820	△31,565,301,291
(配当等相当額)	(474,512,314)	(521,159,894)	(583,170,650)	(629,205,811)	(660,707,193)	(679,649,335)
(売買損益相当額)	(△29,833,531,230)	(△30,297,816,847)	(△31,390,088,197)	(△32,039,306,018)	(△32,269,845,013)	(△32,244,950,626)
分配準備積立金	843,215,610	825,115,011	818,320,810	825,245,417	830,044,338	887,316,726
繰越損益金	△ 5,754,917,002	△ 7,573,803,188	△ 7,862,678,565	△ 4,602,962,258	△ 4,931,439,109	△ 2,929,833,106

(注 1) (A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注 2) (B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注 3) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注 4) 第103期計算期間末における費用控除後の配当等収益(270,171,249円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(474,512,314円)および分配準備積立金(832,536,617円)より分配対象収益は1,577,220,180円(10,000口当たり212円)であり、うち259,492,256円(10,000口当たり35円)を分配金額としております。

(注 5) 第104期計算期間末における費用控除後の配当等収益(267,643,644円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(521,159,894円)および分配準備積立金(818,906,694円)より分配対象収益は1,607,710,232円(10,000口当たり215円)であり、うち261,435,327円(10,000口当たり35円)を分配金額としております。

(注 6) 第105期計算期間末における費用控除後の配当等収益(277,338,516円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(583,170,650円)および分配準備積立金(808,715,514円)より分配対象収益は1,669,224,680円(10,000口当たり218円)であり、うち267,733,220円(10,000口当たり35円)を分配金額としております。

(注 7) 第106期計算期間末における費用控除後の配当等収益(298,017,996円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(629,205,811円)および分配準備積立金(798,399,277円)より分配対象収益は1,725,623,084円(10,000口当たり222円)であり、うち271,171,856円(10,000口当たり35円)を分配金額としております。

(注 8) 第107期計算期間末における費用控除後の配当等収益(294,897,787円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(660,707,193円)および分配準備積立金(807,089,140円)より分配対象収益は1,762,694,120円(10,000口当たり226円)であり、うち271,942,589円(10,000口当たり35円)を分配金額としております。

(注 9) 第108期計算期間末における費用控除後の配当等収益(347,738,404円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(679,649,335円)および分配準備積立金(810,496,725円)より分配対象収益は1,837,884,464円(10,000口当たり237円)であり、うち270,918,403円(10,000口当たり35円)を分配金額としております。

(注10) 親投資信託の投資信託財産の運用指図に係る権限を委託するために要する費用として、委託者報酬の中から支弁した額は、50,855,789円です。

◎分配金のお知らせ

	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
1万口当たり分配金（税込み）	35円	35円	35円	35円	35円	35円

◇分配金をお支払いする場合：原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始いたします。

◇分配金を再投資する場合：決算日現在の基準価額に基づいて、税金を差し引いた後、皆さまの口座に繰り入れて再投資いたします。

◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。

普通分配金 … 分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。

元本払戻金 … 分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの部分は普通分配金となります。元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

◎分配原資の内訳

（単位：1万口当たり・税引前）

	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
当期分配金	35円	35円	35円	35円	35円	35円
（対基準価額比率）	0.647%	0.680%	0.688%	0.637%	0.644%	0.615%
当期の収益	35円	35円	35円	35円	35円	35円
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	177円	180円	183円	187円	191円	202円

◇「（対基準価額比率）」は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率です。この値はファンドの収益率を表すものではない点にご留意ください。

◇「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに住民税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※税金の取扱いの詳細については、税務の専門家等にご確認されることをお勧めします。

◆親投資信託「ブラジル債券マザーファンド」の運用状況
第9期（2016年9月21日～2017年9月19日）

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	主にブラジルの債券等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要運用対象	主にブラジルの政府、政府機関もしくは企業等が発行する現地通貨建債券に投資します。
組 入 制 限	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への投資は信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資には制限を設けません。

◎最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 総 額
第5期（2013年9月18日）	円 13,666	% 17.4	% 96.0	% —	百万円 79,669
第6期（2014年9月18日）	15,861	16.1	96.5	—	56,930
第7期（2015年9月18日）	10,935	△31.1	95.5	—	33,740
第8期（2016年9月20日）	13,831	26.5	97.5	—	34,475
第9期（2017年9月19日）	18,856	36.3	97.7	—	43,688

（注1）当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

（注2）「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

◎当期中の基準価額等の推移

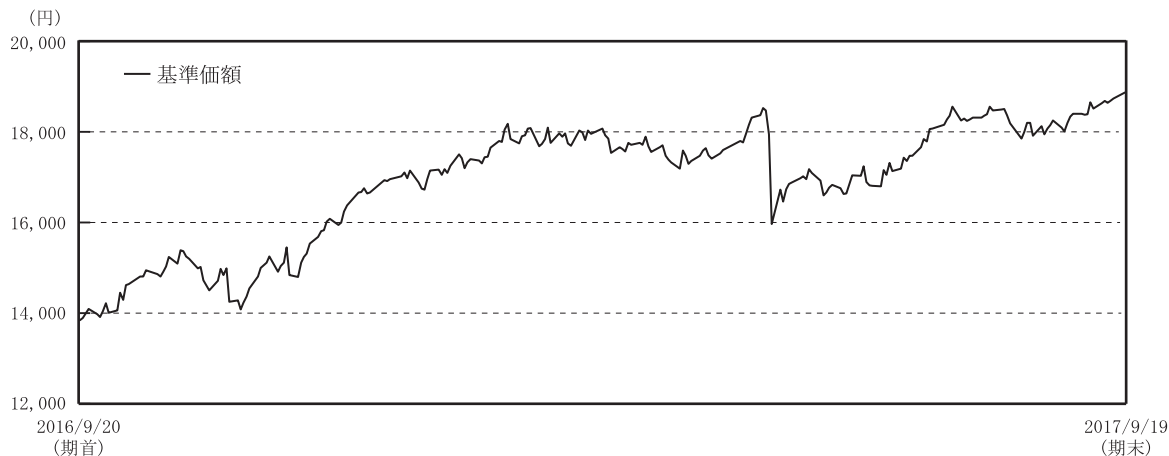
年 月 日	基 準	価 額	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落 率		
(期 首)	円	%	%	%
2016年 9月20日	13,831	—	97.5	—
9月末	13,994	1.2	96.5	—
10月末	14,972	8.2	95.7	—
11月末	15,096	9.1	95.9	—
12月末	16,653	20.4	95.9	—
2017年 1月末	17,411	25.9	99.3	—
2月末	17,719	28.1	98.3	—
3月末	17,701	28.0	98.5	—
4月末	17,398	25.8	98.0	—
5月末	16,944	22.5	96.3	—
6月末	17,119	23.8	93.9	—
7月末	18,308	32.4	98.7	—
8月末	18,324	32.5	97.8	—
(期 末)				
2017年 9月19日	18,856	36.3	97.7	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

◎当期の運用状況と今後の運用方針

1. 基準価額等の推移について（第9期：2016年9月21日～2017年9月19日）



2. 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

組入銘柄の価格上昇（利回り低下）および利子収入がプラスに寄与しました。また、ブラジルレアルが対円で上昇し、基準価額にプラスに働きました。

3. 投資環境について

【債券市況】

ブラジル債券市場は、当期を通じて上昇基調（利回りは低下）をたどりました。債券市場上昇の主な背景としては、インフレ率の低下とブラジル中央銀行による連続的な利下げが挙げられます。

拡大消費者物価指数（IPCA）は、2016年8月の前年同月比＋9.0％から2017年8月は＋2.5％へと、当期を通じて、大幅に低下しました。インフレの沈静化を背景に、中央銀行は2016年10月に4年振りの利下げに踏み切り、その後も8会合連続の利下げを実施、2017年9月には政策金利を8.25％まで引き下げました（この間の利下げ幅は合計6％）。特に2017年4月、5月、7月、9月は4会合連続で1％の大幅利下げを実施し、債券市場の上昇要因となりました。

【為替相場】

ブラジルのインフレ率の低下や経常収支の改善などを背景に、レアルは対円で、当期初から2017年2月半ばまで上昇しました。その後は地政学リスクの高まりなどから安全資産とされる円が買われたことから、レアルも対円で下落しましたが、2017年6月下旬以降は、ブラジルの政治混乱の収束とこれに伴う改革前進への期待感などから、再び上昇相場となりました。当期を通じて見ると、レアルは対円で前期末比で上昇しました。

4. ポートフォリオについて

残存期間1～5年を中心としたブラジル国債に投資しました。債券種類別には、割引国債の組入比率を35～43%程度、固定利付債は54～63%程度、物価連動国債を2%程度としました。また、キャッシュ比率は0.2～3.5%程度に維持しました。

5. 今後の運用方針

ブラジル経済は回復の兆候を示しており、2017年以降はプラス成長を続けると当社では見えています。また、インフレ率は通貨レアルの堅調な推移や緊縮財政などから、引き続き落ち着いた推移が見込まれます。インフレ率は引き続き目標中央値4.5%を下回る見通しであり、中央銀行は一段の利下げを実施すると見込まれます。

テメル政権は構造改革に取り組んでおり、7月には労働法の改正が成立、今後はこれまでの硬直的な労働市場の改善が見込まれます。また、構造改革の目玉である社会保障改革にも取り組んでおり、年金制度を含む社会保障制度改革案が下院で審議されます。但し、政治情勢の悪化が改革の進捗に影響を与える可能性があり、今後の動きを注視します。

通貨レアルは引き続き底堅い動きを見込んでいます。貿易・経常収支の改善や潤沢な外貨準備高などが相場を下支えすると見えています。

世界でも利回りが高水準にあるブラジル国債への投資を通じて安定的な投資収益の確保を目指します。債券ポートフォリオでは、引き続き中期債の組入比率を高め維持しています。

◎1万口当たりの費用明細（2016年9月21日から2017年9月19日まで）

項 目	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用	23円	0.136%
（保 管 費 用）	(23)	(0.135)
（そ の 他）	(0)	(0.000)
合 計	23	0.136

- ・ 期中のマザーファンドの平均基準価額は16,803円です。
- ・ 各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入しております。なお、費用項目の概要については、6ページをご参照ください。

◎当期中の売買及び取引の状況（2016年9月21日から2017年9月19日まで）

公社債

			買 付 額	売 付 額
外国	ブラジル	国 債 証 券	千ブラジルレアル 369,487	千ブラジルレアル 378,447 (10,850)

(注1) 金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) () 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

◎利害関係人との取引状況（2016年9月21日から2017年9月19日まで）

当期中の利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為 替 直 物 取 引	百万円 7,622	百万円 1,003	% 13.2	百万円 10,455	百万円 1,291	% 12.3

（注）単位未満は切捨て。

* 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド（東京）です。

◎組入資産の明細

外国（外貨建）公社債（2017年9月19日現在）

(A) 債券種類別開示

区 分	額 面 金 額	当 期		組入比率	うち B B 格 以下組入比率	末		
		評 価 額	残 存 期 間 別 組 入 比 率			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額					
ブ ラ ジ ル	千ブラジルレアル 1,249,435	千ブラジルレアル 1,201,815	千円 42,688,472	% 97.7	% 97.7	% 29.3	% 44.5	% 24.0
合 計	1,249,435	1,201,815	42,688,472	97.7	97.7	29.3	44.5	24.0

（注1）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

（注2）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

（注3）単位未満は切捨て。

（注4）評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータ入手しております。

（注5）B B 格以下組入比率は、スタンダード・アンド・プアーズ（S & P）の格付に基づいております。なお、B B 格とはB B +、B B、B B -を指します。

(B) 個別銘柄開示

銘 柄 名	当 期			末		
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(ブラジル)		%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	
LTN 01/01/2019		—	211,615	193,113	6,859,379	2019/1/ 1
LTN 01/01/2020		—	132,200	110,274	3,916,951	2020/1/ 1
LTN 07/01/2019		—	116,000	101,528	3,606,292	2019/7/ 1
LTN 07/01/2020		—	135,500	107,665	3,824,289	2020/7/ 1
NTN-B 6% 08/15/2022	国 債 証 券	6.0	8,000	25,504	905,927	2022/8/15
NTN-F 10% 01/01/2021		10.0	293,720	303,351	10,775,028	2021/1/ 1
NTN-F 10% 01/01/2023		10.0	149,450	153,336	5,446,524	2023/1/ 1
NTN-F 10% 01/01/2025		10.0	158,950	162,376	5,767,622	2025/1/ 1
NTN-F 10% 01/01/2027		10.0	44,000	44,663	1,586,455	2027/1/ 1
合 計	—	—	—	—	42,688,472	—

（注1）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

（注2）額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

（注3）評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータ入手しております。

◎投資信託財産の構成

2017年9月19日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	42,688,472	97.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,228,216	2.8
投 資 信 託 財 産 総 額	43,916,688	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 期末における外貨建純資産 (43,661,485千円) の投資信託財産総額 (43,916,688千円) に対する比率は99.4%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=111.46円、1ブラジルレアル=35.52円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2017年9月19日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	44,169,614,126円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	732,858,328
公 社 債 (評価額)	42,688,472,803
未 収 入 金	252,925,638
未 収 利 息	493,535,619
前 払 費 用	1,821,738
(B) 負 債	480,750,080
未 払 金	252,957,417
未 払 解 約 金	227,791,999
未 払 利 息	664
(C) 純 資 産 総 額 (A－B)	43,688,864,046
元 本	23,169,298,236
次 期 繰 越 損 益 金	20,519,565,810
(D) 受 益 権 総 口 数	23,169,298,236口
1万口当たり基準価額 (C／D)	18,856円

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額 (元本の欠損) となります。

《注記事項》

※期首元本額	24,926,467,593円
期中追加設定元本額	11,376,441,882円
期中一部解約元本額	13,133,611,239円

※当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末保有元本額

HSBC ブラジル債券オープン (1年決算型)	147,279,665円
HSBC ブラジル債券オープン (毎月決算型)	23,022,018,571円

◎損益の状況

自2016年9月21日
至2017年9月19日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	4,110,807,371円
受 取 利 息	4,111,181,586
支 払 利 息	△ 374,215
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	7,848,227,997
売 買 益	7,871,740,940
売 買 損	△ 23,512,943
(C) 信 託 報 酬 等	△ 53,186,598
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	11,905,848,770
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	9,548,543,970
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	7,675,320,339
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 8,610,147,269
(H) 計 (D+E+F+G)	20,519,565,810
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	20,519,565,810

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等の主なものは、保管費用等です。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

◆お知らせ◆

＜約款変更のお知らせ＞ ありません。
＜その他のお知らせ＞ ありません。